



日時：令和8年4月4日(土)

11:45～16:00頃

※小雨決行(予定)

— 仙台市街地を貫く活断層 —

ジオさんぽ 仙台 2026

「長町 - 利府線断層帯」

場 所：仙台市街地
地下鉄南北線「河原町駅」周辺
～JR 榴ヶ岡駅周辺

集 合：広瀬川宮沢緑地
※昼食を済ませてから集合ください

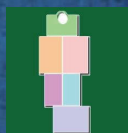
解 散：榴ヶ岡公園

募集人数：一般 20 名程度

※小中学生は保護者同伴で参加可！

参加費：1,000 円(資料代として)

※くわしくは裏面をご覧ください



主催：日本応用地質学会東北支部
(<http://www.jseg.or.jp/tohoku/>)



※背景図：地理院地図に都市圏活断層図「仙台」(今泉ほか, 1996)を重ねて作図

申し込み方法

申込受付締切：2026 年 3 月 25 日(水)

申し込み方法：メールまたは FAX にてお申込み下さい(申込者多数の場合は抽選を行い、結果は 3 月下旬にメールで全員にお知らせします)。

【メール】 tohoku@jseg.or.jp 【FAX】 022-283-1801

冒頭に「ジオさんぽ参加申込み」と記載の上、記入事項 1～6 をすべて記入願います。

1. 氏名, 2. 自宅住所(郵便物を受け取れる住所), 3. 携帯等電話番号, 4. メールアドレス, 5. 生年月日,

6. 性別 (注) 小・中学生の申込の際は, 1, 5, 6 について保護者の情報も明記して下さい。

問合せ先：上記メールアドレスにてお問合せください。 日本応用地質学会東北支部事務局(担当 菅野・石川)

さんぽの 見どころ

今年のテーマは気になる活断層、「長町 - 利府線断層帯」です。令和元年にも同じテーマで開催しましたが、今回は「街中を貫く活断層」に注目してコースをリニューアルしました。

地中にある断層を直接見ることはできませんが、地表に現れた『段差（地殻変動の痕跡）』が仙台の街を横断しています。興味を持つと楽しい！“ジオさんぽ”を体験してみませんか。

今回の 案内者



岡田真介先生【岩手大学 理工学部 理工学科 准教授】

活断層の構造解析や地震・津波の履歴調査などの研究に従事され、長町 - 利府線断層帯の調査に詳しい先生にご案内いただきます。

集合時間・場所：11:45 集合 広瀬川宮沢緑地（地下鉄南北線「河原町駅 南1出口」徒歩約5分）
見学コース（予定）：12:00 広瀬川宮沢緑地（Start）

※Start からのおよそ距離

- 1.0km ①荒町周辺「仙台市の段丘と大年寺山断層」
- 2.3km ②連坊駅周辺「長町 - 利府線断層の^{とうきょく}撓曲斜面」
- 3.5km ③榴ヶ岡「断層露頭跡」
- 4.5km ④清水沼公園「断層の隆起でできた湿地」
- 5.5km ⑤宮城野原駅周辺「断層^{とうきょく}撓曲崖」
- 6.0km



16:00 頃 榴ヶ岡公園（解散）

募集人数：20 名程度

参加費：1,000 円（資料代として）

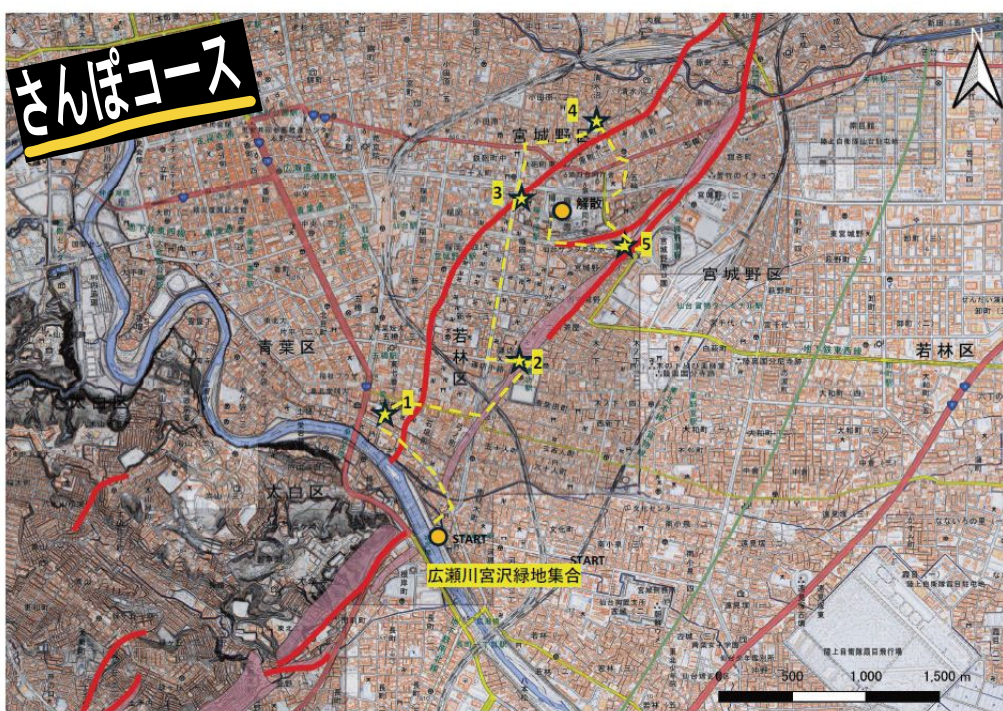
対象：小学生以上。ただし、小・中学生の方は保護者の同伴をお願いします。また、本行事は一般向けの行事です。学会員も申込可能ですが、定員を超えた場合は非会員の一般市民の参加を優先します。

留意事項：飲み物等は各自持参してください。

歩きやすい服装・靴（スニーカー可）でお越しください。

※撓曲（とうきょく）

地下の断層がずれることで、その上の地層が「たわむ」現象。仙台の街中の緩やかな坂道として現れています。



※地理院地図に宮城県 1mDEM・微地形表現図を重ね合わせ（宮城県, cs 立体図 / 2023）, パスコ / 2023))
断層地形：活断層詳細デジタルマップ 新編（2018）

応用地質学会？



応用地質学会東北支部は、主に「地質」の研究者や実務者などからなる集団です。

街中の身近にある地質学・応用地質学を一般の皆さんにも楽しんでもらえるよう、徒歩による“ゆるい”見学会を企画・開催しています。

